

# TOPICS

## ★ 鹿児島・岐阜技術交流成果発表展

鹿児島・岐阜工業技術交流5周年事業として、鹿児島・岐阜両県で共同研究の成果を発表してきましたが、平成9年2月、岐阜県美濃市での開催を最後に終了しました。

鹿児島県と岐阜県の工業系試験研究機関の技術交流は、平成4年、両県の工業及び試験研究機関等の概要についての相互理解からはじまり、毎年約2回の会議を通して共同研究の可能性を探ってきました。

実際に共同研究をすすめた成果として、当センターの竹平板展開の技術に岐阜県工芸試験場の飛騨春慶塗の技術を融合した工芸品や、岐阜県紙業試験場の紙漉きの技術に鹿児島県大島紬技術指導センターの染色技術を融合した奄美大島産植物の紙とその紙を使った着物やインテリア用品等の試作品をつくることができました。その点数は大島紬技術指導センターの試作品を中心に約300点に及びました。

平成8年度、これらの成果を鹿児島・岐阜両県の工業振興に役立てる目的で、両県でそれぞれ2ヶ所、成果発表展を開催しました。試作品のほか、共同研究の内容や各試験研究機関を紹介したパネル、さらには、両県の観光パンフレット等も展示し、一般の方にも親しみやすい内容にしました。また、鹿児島県での開催には、紙漉きの実演も行い、伝統技術への理解も深めていただきました。

展示会場の様子や展示品を写真1から3に紹介します。

展示会場と開催期間は、次のとおりでした。

- ・ 岐阜県高山市（飛騨体育館）  
平成8年9月4日～8日
- ・ 鹿児島県名瀬市（奄美文化センター）  
平成8年11月29日～12月1日
- ・ 鹿児島県鹿児島市（歴史資料センター黎明館）  
平成9年1月24日～26日
- ・ 岐阜県美濃市（中央公民館）  
平成9年2月16日～19日

それぞれの会場には多くの来場者があり、鹿児島・岐阜技術交流の成果に興味を持っていただきました。

最後に、今回の成果発表展では、岐阜県の関係者にはたいへんお世話になりました。紙面を通してですが御礼申し上げます。

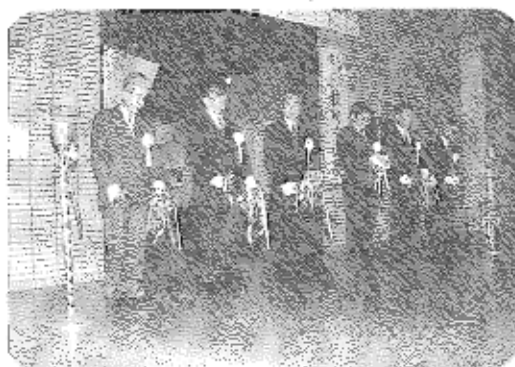


写真1 黎明館での開場式

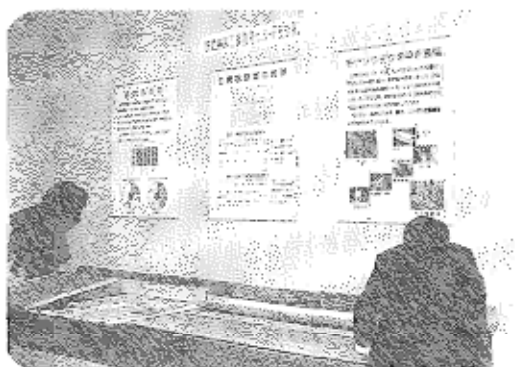


写真2 当センターの展示品

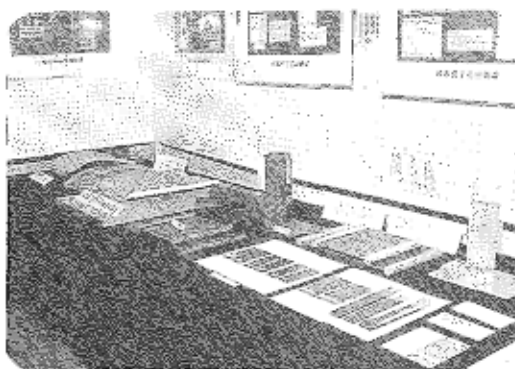


写真3 岐阜県工芸試験場の展示品

## ★ 海外青年技術研修生報告

鹿児島県から委託を受けた財団法人鹿児島県国際交流協会の事業として行った、海外の青年技術者2名の実地研修（平成8年7月21日～平成9年1月31日）が終了しましたので、以下に研修についての感想を頂きました。

### ○ キリンダ・マヒンダ（スリランカ）

日本に来てから日本語と日本の文化をはじめて勉強しました。研修ではステンドグラス、染織、コンピュータグラフィックス、スクリーンプリントや色々な陶器作りの勉強をしました。

私は、焼きものデザインの勉強に来ましたが、良い製品を作るには、ペーパーデザインだけではなく、粘土やうわぐすりの性質、窯のたきかた等、焼きものに関係あることをたくさん知ることが必要だと思いました。

日本での研修で色々な勉強をしたことをスリランカの焼きもの作りの役に立てたいと思います。

### ○ ウッタム サック（ネパール）

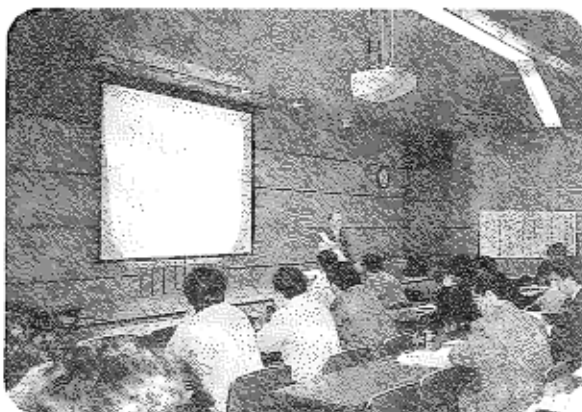
工業技術センターで、木工デザインの研修を受けました。まず、おみこしや椅子の3面図を作図して木工製図の基礎を学びました。つぎに、1点透視図法と2透視図法を勉強して、カラーリングしたインテリアパースを作図しました。透視図の作図は難しかったですが、良く理解することができました。私は、ネパールでデザインのインストラクターをしているので、大変役に立つ研修でした。

また、日本の文化も沢山学びました。温泉に入ったり、天文館で焼酎を飲んだり、吹上浜でキャンプをしたり、楽しい生活を過ごすことができました。日本のみなさんお世話になりました。ありがとうございました。

## ★ 工場排水管理技術講習会

平成8年度工場排水管理技術講習会が、当センターに於いて平成9年2月26日行われました（主催：鹿児島県農政部流通園芸課、当センター）。

講師に西原環境衛生研究所(株)顧問の稲見茂氏また鹿児島県環境整備室室長の日高成男氏をお招きし、排水処理維持管理業、焼酎製造業、畜産食料品製造業、漬物製造業などの関係者150人余りが熱心に聴講しました（写真）。



稲見氏は、「日常の観察を基にした活性汚泥法の維持管理について」と題し、活性汚泥法を維持管理するためには、活性汚泥の色・臭い・性状、気泡の状態の点検、排水の質や量の把握など日常の観察が重要であると講演されました。

一方日高氏は、「食品工場からの産業廃棄物の処理動向について」と題し、ロンドン条約の概要およびロンドン条約の1996年の議定書の内容に触れ講演されました。このことに関連し、平成13年度から焼酎粕を全面的に陸上処分に切り換え、その対応策の早期解決を迫られている状況にあると問題提起されました。

講演終了後、参加者から、肥料化された焼酎粕を広く一般に普及できるよう県としても積極的に取り組んでほしいとの要望もありました。

# ★ 鹿児島県知的所有権センター開設

平成9年3月25日、鹿児島県知的所有権センターを当センター内に開設しました。

この知的所有権センターは、平成8年12月13日に特許庁から当センターと社団法人鹿児島県発明協会が認定を受け、CD-ROM公報編集システムを整備し準備を進めていたもので、県内企業の技術開発及び新規事業の創出に資することを目的に、技術分野別ライブラリの作成など特許等技術情報の有効利用を推進するため、公報閲覧、特許情報提供、特許情報検索の指導・相談等の業務を行います。

## 1 公報閲覧

閲覧できる特許公報類は、次のとおりです。

- (1) 特許公報(昭和57年～平成5年)
- (2) 実用新案公報(昭和59年～平成5年)
- (3) CD-ROM登録・公開公報(平成5年～)
- (4) CD-ROM公告公報(平成6年～)

この他、意匠公報、商標公報、審決公報、特許庁公報、PATENT ABSTRACTS OF JAPANの交付を受けています。なお、公報の複写は有料です。

## 2 特許情報提供

特許情報の提供として、交付されるCD-ROM公報から、本県の産業特性に即して国際特許分類による次の10分野の技術に関する技術分野別ライブラリを作成して提供します。

### A. 生活必需品

(農業)

- ①畜産、漁業、動物の飼育・繁殖 (A01K)
- ②殺虫・除草剤、植物生長調節剤 (A01N)

(食料品)

- ③食品(アイスクリーム、菓子類) (A23G)
- ④非アルコール飲料、その他食品 (A23N)

### C. 化学；冶金

(化学)

- ⑤水、排水、下水処理 (C02F)

⑥シラス、セラミックス、セメント (C04B)

⑦アルコール飲料(焼酎、ぶどう酒) (C12G)  
(冶金)

⑧金属材料皮膜、表面処理 (C23C)

### G. 物理学

(器械)

⑨光学(光の強度、色、方向の制御) (G02F)

### H. 電気

⑩半導体装置、その他の電氣的個体装置(H01L)

## 3 特許情報検索の指導・相談

CD-ROM化された特許等の情報は、出願・公開番号や国際特許分類等から検索し、該当する公報を呼び出すことができます。

また、日本特許情報機構(Japio)のPATOLISの利用(有料)も可能です。

## 4 その他

(1) 運用時間

午前8時30分から午後5時15分です。  
(但し、土日祝日及び年末年始を除く)

(2) 連絡先

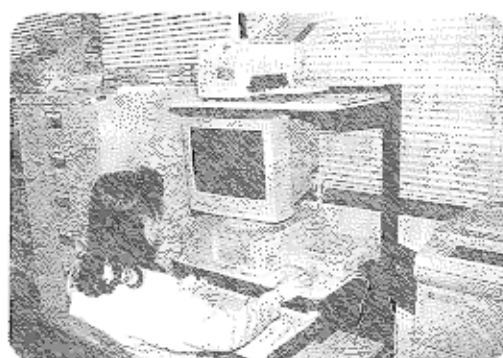
詳細はお気軽にお問い合わせ下さい。

TEL:0995-43-5111(代表)

TEL:0995-64-2445(直通)



知的所有権センター開所式



CD-ROM公報編集システム